

## 4月30日(水) 第1回 学校運営協議会を開催しました。

4月30日(水)に第1回の学校運営協議会を開催し、コミュニティ・スクールとしての第一歩を踏み出しました。今年度の学校経営方針や取組について確認をし、ご意見やご要望をお話しいただきました。出席された委員の方からは、子供たちの良いところを伸ばす取組の大切さやICTにおけるリテラシーの育成、経営方針の資料提示の方法について等、こちらから提示したことを肯定的に理解していただき、委員の皆様と共に学校運営を行う準備が整う会となりました。

今年度においては、12月開催予定の第四回学校運営協議会において、令和8年度の経営方針や方向性などを提示して共有し、令和8年2月に開催予定の第五回学校運営協議会で、学校経営方針や教育課程に関わる内容を承認していただけるよう、本会の見通しも確認いたしました。

スタートしたばかりの本校のコミュニティ・スクールの活動ですが、学校・家庭・地域の関係性を高めつつ、子供たちにとって楽しくも安心できる学校を目指したいと思います。

## 5月2日(金) 開校55周年記念集会を開催しました。

全校児童と保護者の方々、同窓会の代表の方を迎えて、開校55周年記念の集会を行いました。

5・6年生の高学年の代表が司会や進行を行い、開校当時に関わるクイズや六小が建てられる周辺の環境や建設当時の様子などが分かる写真など、今とは大きく違う様子に、子供たちからは、驚きの声が上がっていました。

また、出席いただいた同窓会会長 小口 俊明さん(卒業生1期)、副会長 山口 智之さん(卒業生6期)からは、子供たちの集会への取組に対してお褒めの言葉をいただき、昨年度立ち上げられた同窓会の皆様の六小への思いを代弁してお話をいただきました。お忙しい中、子供たちのためにお時間をつくっていただいたお二人には、この場をお借りして御礼を申し上げます。

誠に、ありがとうございました。

集会の最後には、子供たちが手話と声を響かせて、校歌を高らかに歌い上げ、記念集会を盛会に終えることができました。

今後も、開校55周年にちなんだ取組を行いながら、子供たちの六小や地域を大切にしようとする思いを高めていきたいと思っております。

## 5月7日（水）先生たちの学びの場である校内研究を行いました。

小学校の先生の多くは、自分の専門性を書く欄に「全科」と書いています。つまり、全部の教科を教える免許をもっていることになります。専科の先生は、音楽の免許や図工の免許を専門的にもっていますが、（時には、全科の免許で専科の先生となっている方もいます）担任の先生は、全ての教科を教える全科の免許をもっています。

全ての教科を教えるには、全ての教科を勉強して（教材研究と言いますが）、授業に向かうことが必要です。勉強しないで授業をすると、子供たちに分かりやすく、楽しい学習活動にすることが難しい場合が多いです。そこで、先生方は、各学校で校内研究という時間を設定して、教員としての授業力を高める努力をしています。

今年度、本校では、総合的な学習の時間や生活科を校内研究の教科として研究を進め、教科そのものの勉強や子供たちが学習活動に意欲をもつことや主体的に取り組むことなど、教員自身の授業力の向上を図ることを通して、児童の学習力を高めていきます。

子供たちの意欲と主体性、そして、興味や関心をもつことができることは、全ての教科や学習活動になくてはならない力です。そのためにも、私たち自身が意欲をもって、主体的に教材研究等に努め、私たちが学びに対して興味や関心をもつことで、子供たちも同じように成長していきます。子供たちは、私たち教員の鏡です。私たちが元気であれば、元気になります。調子を崩していると、子供たちもなかなかうまく学校生活ができないところです。

校内研究は、私たち教員自身が成長し、子供たちを育てるための大切な取組です。保護者や地域の皆様にもよく知っていただき、教職員の頑張りを応援していただけますよう、よろしく願いいたします。これからも、折に触れ、情報発信してまいります。

### 【校長のつぶやき】

前任校の国立第七小の校歌の歌詞は、詩人の故・谷川俊太郎さんが作っていただきました。また、作曲家であるご子息の谷川賢作さんが作曲をしてくださいましたので、七小で谷川俊太郎さんの追悼の音楽朝会を行い、録音した校歌を賢作さんに送りました。その時に私が校歌の指揮をさせていただきました。（NHK のニュースでも流れました。 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20241122/k10014646351000.html>）

そのご縁もあり、本日の5月12日（月）に行われます、「谷川俊太郎さん お別れの会」に参列することになりました。国立第六小に異動した身ではありますが、これまでの経緯から国立第七小の第15代校長としての参列となります。本当に縁とは不思議なものです。一期一会の縁であっても自分の人生に大きく反映されます。自分に合唱指揮の経験がなければ、きっとこういう出会いも生まれなかったと思います。これからも、様々な縁の基に出会うことがたくさんあると思いますが、一つ一つ大切に生きていきたいと思います。六小での出会いも楽しみです。